

平成30年11月28日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題	新規就農者・研修生を対象とした農作業安全研修会を開催 ～益田市・鹿足地域では初の取り組み～
-----	--

(ダイジェスト)

農作業事故は全国で多発しており、多くの死亡者も出ています。死亡事故については高齢者の割合が高いが、負傷事故に関しては若年層の方が高く、GAPにおいても重要な管理項目となっています。

そこで11月8日、石西地域農林振興協議会主催により新規就農者・就農研修生を対象として、農作業安全研修会が開催されました。

農業・食品産業技術総合研究機構の報告によると、農作業事故の内、負傷事故の発生割合は若年層が高く、経験が少ない分、様々な場面で事故に遭いやすいとみられています。また、異業種の産業事故が減少している中、国内の農作業事故は減少していません。

そこで11月8日(木)、農作業中の事故を未然に防ぐために、指導農業士、JA西いわみ地区本部、JA全農、当事務所林業部の協力のもと農作業安全研修会が開催されました。

研修内容は前半に作業者の安全確保について、体験報告、農業機械の取り扱い及び保守点検といった内容の座学を行いました。後半は、刈払機・チェーンソーやトラクター等大型機械に実際に触れながら構造や扱い方、扱う際の注意点といった内容について実地講習が行われました。普段、構造やセルフメンテナンスの方法を学ぶ機会が少ない参加者は農業機械を安全に使用するために熱心に研修を受けていました。

参加者を対象にしたアンケートでは、「実習の時間を長めにとってほしい」「メンテナンス方法をもっと詳しく知りたい」といった意見もあり、今後も普及部は関係機関と共に農作業安全のための活動を行っていきたいと考えています。



写真1. 刈払機の構造を確認する参加者



写真2. ロータリーの説明を聞く参加者